

第73回 国民体育大会陸上競技愛媛県選手の選考について

1 種別（種目）及び参加人員（第73回 福井国体要項より抜粋）

(1) 各都道府県は、監督2名、選手29名（男子選手19名以内、女子選手19名以内）計31名以内で編成し、種別、種目、参加数は下記のとおりとする。

監督、選手の兼任は1名とし、その場合は参加選手を30名とすることができる。

ア 男子（19名以内）

種別	種目	共通種目	
成年	100m、400m、800m、110mH、400mH、10000mW 走高跳、三段跳、砲丸投、やり投		4 × 1 0 0 m R
少年	A 100m、400m、5000m、400mH 棒高跳、走幅跳、ハンマー投(6.000kg)、やり投	800m、 110mJrH(0.991m/9.14m)	0 0 m R
	B 100m、3000m、 走幅跳、砲丸投(5.000kg)	5000mW、走高跳、 三段跳、円盤投(1.750kg)	

イ 女子（19名以内）

種別	種目	共通種目	
成年	100m、400m、1500m、5000m、400mH、5000mW 走高跳、棒高跳、砲丸投、円盤投、やり投		4 × 1 0 0 m R
少年	A 100m、400m、3000m、100mH、 走幅跳	800m、400mH 三段跳、砲丸投(4.000kg)	0 0 m R
	B 100m、1500m、100mH(0.762m/8.5m) 走幅跳	円盤投(1.000kg)、やり投	

(2) 各都道府県の参加は、次の出場制限によるものとする。

ア 1種目1名、同一人の出場は2種目までとする。ただし、リレーは除く。

イ 都道府県主催の予選会に出場しなかった種目には出場できない。ただし、1種目の予選のみに出場し、その種目の代表選手となった者は、予選に出場しなかった他の1種目にも出場できる。

ウ リレーチームの編成は、男女とも成年、少年A、少年Bから各1名、残りの1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別とし、合計8名以内で申込むこと。

なお、選手変更については、日本陸上競技連盟競技規則によるものとする。

エ リレーに出場する者は、予選会のどの種目であっても参加していれば出場できる。

オ 成年女子5000m競歩には、少年女子Aからもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子又は少年女子A、いずれかの1名のみとする。

カ 成年男子10000m競歩の出場者は、5000m競歩の予選を経た者でもよい。少年男子共通5000m競歩、成年女子5000m競歩の出場者は、3000m競歩の予選を経た者でもよい。

キ 成年女子走高跳には、少年女子Aからもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子又は少年女子A、いずれかの1名のみとする。

ク 成年女子棒高跳には、少年女子Aからもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子又は少年女子A、いずれかの1名のみとする。

2 競技上の規程及び方法

2018 年度日本陸上競技連盟競技規則によるもののほか、次による。

- (1) 少年男子 A 400m ハードルの、ハードルの高さは 0.914m とする。
- (2) 少年男子 A ハンマー投のハンマーの重さは、6.000kg とする。
- (3) 少年男子 A やり投のやりの重さは、800 g とする。
- (4) 少年男子 B 砲丸投の砲丸の重さは、5.000kg とする。
- (5) 少年男子共通 110m ハードルの、ハードルの高さ／ハードル間は、0.991m／9.14m とする。
- (6) 少年男子共通円盤投の円盤の重さは、1.750kg とする。
- (7) 少年女子 A 100m ハードルの、ハードルの高さ／ハードル間は、0.838m／8.50m とする。
- (8) 少年女子 B 100m ハードルの、ハードルの高さ／ハードル間は、0.762m／8.50m とする。
- (9) 少年女子共通 400m ハードルの、ハードルの高さ 0.762m とする。
- (10) 少年女子共通砲丸投の砲丸の重さは、4.000kg とする。
- (11) 少年女子共通円盤投の円盤の重さは、1.000kg とする。
- (12) 少年女子共通やり投のやりの重さは、600 g とする。

3 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

- (1) 監督・選手は、日本陸上競技連盟登録者であること。
- (2) 参加資格・所属都道府県

総則 5-(1)(2)に定めるもののほか、次による。

ア 日本国籍を有しない者〔出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、永住者（日本国との平和条約に基づき、日本国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定める特別永住者を含む。）を除く〕については、学校教育法第 1 条に定める学校に在籍する生徒に限り、少年の種別に各都道府県、男女各 1 名以内で参加することができる。

イ 監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認陸上競技コーチ、公認陸上競技上級コーチ（以上、JAAF 公認コーチ）、又は公認陸上競技指導員、公認陸上競技上級指導員（以上、JAAF 公認ジュニアコーチ）の資格を有する者とする。

なお、監督、選手兼任の場合も同様とする。

ウ ふるさと選手制度については、第 73 回国民体育大会実施要項総則 5（別記 1 を含む。）の規程による。

- (3) 選手の年齢制限

ア 成年の部に参加する競技者は、平成 12 年 4 月 1 日以前に生まれた者とする。

イ 少年 A の部に参加する競技者は、平成 12 年 4 月 2 日以降平成 14 年 4 月 1 日までに生まれた者とする。

ウ 少年 B の部に参加する競技者は、平成 14 年 4 月 2 日以降に生まれた者とする。

（ただし、中学生は、3 年生のみ参加できる。）

4 愛媛県代表選手の選考について

- (1) 愛媛県代表選手の選考については次ページの「選手選考基準」及び「標準記録」によるものとする。
- (2) 国体に参加する意志のある選手は、国体選考対象大会である、各地区選手権・愛媛選手権・第 1 回愛媛陸協強化記録会・県高校総体・国体記録挑戦会・中学通信・県中学総体いずれかの大会において、該当の種目に必ず出場（エントリーのみ、DNS は不可）しなければならない。ただし、成年男子 10000m 競歩の出場者は、5000m 競歩の予選を経た者でもよい。少年男子共通 5000m 競歩、成年女子 5000m 競歩の出場者は、3000m 競歩の予選を経た者でもよい。

また、日本陸連から指定されている世界大会等の予選会免除対象大会に出場する選手については、この限りではない。

- (3) 国体に出場する意志があり、下記ア・イに該当する選手は、「国体選考選手調査票」を提出すること。「国体選考選手調査票」を期日までに提出していない選手は選考の対象とされない。

(2)により予選会を免除されている選手についても同様に提出すること。

ア 標準記録を突破した選手。

イ 全種別において、B標準に近い記録を出した選手で強化委員会より書類の提出を求められた選手。

5 「国体選考選手調査票」提出要領

- (1) 提出先及び問い合わせ先

愛媛陸上競技協会 強化委員長 福羅 史力

[勤務先] 〒790-8560 松山市湊町 7-9-1 済美高等学校

(e-mail)fumichikafukura@yahoo.co.jp (TEL)089-943-4185 (携帯)090-1110-1479

- (2) 必要書類

愛媛陸上競技協会のホームページ <http://ehime-rikujyo.jp> の「大会情報」から「国体選考選手調査票」をダウンロードすること。

愛媛選手権までの結果による該当者は、愛媛選手権大会期間中に競技場1階ロビーに用紙を準備しておくので、その場で記入して提出すること。

- (3) 申込締切日

ア メールまたは郵送で提出する場合 平成30年8月6日(月) 必着

イ 提出期限を厳守すること。提出期限に遅れた場合は、選考の対象とされないので注意すること。

6 備考

愛媛県選考基準、国体参加資格、ふるさと制度等で不明な点は強化委員会（担当：福羅）まで問い合わせること。